

子どもに新型コロナウイルスワクチンを接種する メリット、デメリット

新型コロナワクチンのスケジュール

改訂第3版



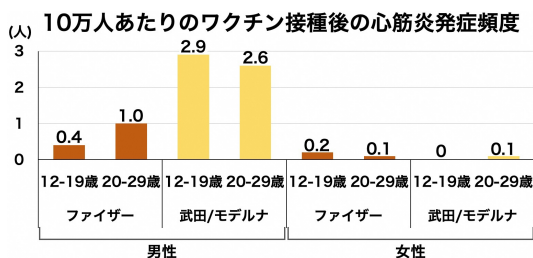
ワクチンを接種する

メリット

- 新型コロナに感染や発症のリスクが下がる(効果は時間と共に減衰する)
- 万が一新型コロナにかかっても症状が出にくく、例え発症しても重症化や後遺症などを予防できる

デメリット

- ワクチンを接種したあと、数日間は肩の痛み、頭痛、だるい、熱が出るなどの副反応が出ることがある特に2回目の接種後に頻度が高い
- 軽症の心筋炎・心膜炎のリスクがある



男性はファイザー製ワクチンを選ぶことで心筋炎のリスクを減らすことができる

ワクチンを接種しない

メリット

- ワクチンの副反応(副作用)の心配がない

デメリット

- マスク、手洗い、三密回避などの感染対策以外には追加の対策ができず、感染リスクをさらに減らすことができない
- 感染した場合、稀ではあるが、重症のリスクがある
小児で使える治療薬は大人よりも選択肢が限られている
- 感染した場合、感染後に残る後遺症や感染後2-6週で発症する小児多系統炎症性症候群(MIS-C)を予防する手段がない

海外では12-15歳の方に3回目のワクチン接種を始めている国もあります
国内ではまだ12-15歳の3回目のワクチン接種は始まっていません